提出順番	No. 2	令和 8 年 2 月 26 日 (午前)・午後 11 時 36 分受領

令和８年２月26日

幕別町議会議長　寺林　俊幸　様

幕別町議会議員　藤谷 謹至 ㊞

一般質問通告書

次のとおり通告します。

質問事項	質問の要旨
定年引上げに伴う組織の活力維持と、全世代の職員が能力を最大限に発揮できる職場環境の構築について	国家公務員の定年が令和５年度から令和13年度にかけて段階的に65歳まで引き上げられることに伴い、本町においても同様の制度移行が進められている。これにより、60歳で役職を退いた後も一般職員として勤務を継続する形態が定着し、組織のあり方は大きな転換期を迎えている。 本町の一般行政職の平均年齢は41.2歳（令和６年４月１日現在）であり、今後、組織全体の更なる高齢化が予測される。こうした中、若手職員の昇任遅延によるモチベーションの低下や、組織が硬直化する懸念もある。 今後の策定に向けて現在示されている「幕別町行政改革大綱（第５次）」（素案）が掲げる「働きやすい職場環境づくり」を、この制度変化の中でいかに具現化していくのか。全世代の職員が町民福祉の向上のために意欲を持って能力を発揮できる組織づくりについて、以下の点について伺う。 １　中途退職者や、休職者の現状と対策について 過去５年間で中途退職した職員数とその理由（転職・家庭の事情・健康問題等）の傾向について伺う。また、メンタルヘルス不調などで休職している職員の現状を踏まえ、定年延長によってベテラン職員が増えることで、若手・中堅職員の業務負担や精神的ストレスにならないよう、どのような対策を考えているか伺う。

	2　若手職員の「昇任遅延」による、意欲低下への対策について 　定年延長によって、ポストの回転が鈍くなり、若手職員の昇任がどの程度遅れると見込んでいるのか。「なかなか昇任できない」という状況が避けられない場合、若手職員が将来に希望を持ち、やりがいを感じて働き続けられるよう、昇任以外での新しい評価や応援の仕組みを考えているか伺う。 3　ベテラン職員の経験を活かす「新たな役割」の創出について 　役職定年を迎えたベテラン職員に対し、具体的にどのような業務を想定しているのか。豊富な知験を活かした「専門業務」への従事や、後進を育成する「アドバイザー」としての役割など、新しい職務分担のあり方をどう構築していくのか伺う。 4　活気ある組織づくりのための具体的な取組について 　町が目指す「人材の育成と定着」を実現するために、意欲ある若手職員の重要ポストへの登用や、部局横断的なプロジェクトへの抜擢など、組織を活性化させるための具体的な取組を伺う。 5　定年延長がもたらす中長期的な財政への影響について 　職員給与費の増加が町の財政運営に与える影響について、現時点での試算と見通しを伺う。

（注）質問の要旨は、具体的に記載すること。